

衣川地区振興会だより

編集・発行：衣川地区振興会 TEL/FAX52-3426

通巻第117号

令和8年8月27日発行



▲「たいした見事だね…」



軍足人形で

昭和を演出

～10日間で来場者930人～

衣川地区振興会主催によるミニ展示会第2弾は「高橋静枝のぼの人形展」を7月3日（金）から7月12日（日）までの10日間開催しました。「ほのぼの人形展」は衣川地区振興会では3回目の開催となります。

衣川地区振興会主催によるミニ展示会第2弾は「高橋静枝のぼの人形展」を7月3日（金）から7月12日（日）までの10日間開催しました。「ほのぼの人形展」は衣川地区振興会では3回目の開催となります。

お知らせ

毎月第3火曜日
無料開放！

おしゃべり茶の間

衣川地区センターでは、毎月第3火曜日に施設の無料開放をしています。ほっと一息つける場所が欲しい方、気軽におしゃべりしたい方、コーヒータムと一緒にいかがですか？毎月色々なコーナーを用意してお待ちしています。お気軽にご利用ください。

【開催した内容】

- ★地区センター会議室の開放
- ★健康体操
- ★脳トレ
- ★各種歴史資料の観覧
- ★懐かしい衣川の映像等の上映
（希望の方にお見せします）
- ・ふるさとCM大賞
- ・まほろばの郷衣川
- ・増沢塗本膳とむかさり儀礼
- ・パプアニューギニアと衣川交流
- ・七つ詣り（平成9年）
- ・川西橋開通（平成9年）



▲イス体操



▲DVD鑑賞

来月の開放日は、9月15日（火）です。

【場所】衣川地区センター

【時間】9時～16時まで

9月の各種検診のお知らせ

◆乳がん・子宮がん検診

9月9日（水）13時30分～15時

場所／衣川保健福祉センター

※乳がん検診、子宮がん検診をそれぞれ単独で受けることもできます。

◆胃がん検診

9月11日（金）6時30分～7時30分

場所／衣川保健福祉センター

9月11日（金）7時30分～9時

場所／衣里地区センター

※持ち物、料金等の詳細は「奥州市のお知らせ」をご確認ください。

【問い合わせ先】

奥州市市民福祉グループ健康増進担当

☎5212370

七夕に願いを

～短冊に込める
みんなの願い～



7月1日（水）〈参加21名〉

場所／衣川地区センター玄関

衣川小学校1・2年生児童

健康体操講座

～体操&ストレッチで
リフレッシュ～



7月17日（金）〈参加15名〉

場所／保健福祉センター

講師／立野直美さん（水沢）

奥州市スポーツ推進委員

夏休み子供企画

～ゲームで学ぼう
「衝突の不思議」～



8月6日（木）〈参加37名〉

場所／保健福祉センター

講師／花田英夫さん（盛岡）

奥州市宇宙遊学館

サイエンススクールリーダー

9月～10月の行事予定

開催日	内容
9/8(火)	エアロビクス教室①
9/15(火)	おしゃべり茶の間
9/15(火)	手ぬぐい頭巾作り
9/18(金)	避難訓練
10/11(日)	衣川地区振興会まつり
10/20(火)	エアロビクス教室②

【編集後記】

この時期は、各地でお祭りやイベントが開かれ、とてもにぎやかですね。振興会でも、秋の振興会まつりやイベントに向けて準備を進めています。多くの皆さんにお会いできるのを楽しみにしながら、頑張っていきたいと思います。（高橋百合子）

「熊の生態は変化している」

～岩手大学・山内准教授「クマ」を語る～



クマによる人身被害や目撃情報が新聞やテレビで報道されない日がないと言っている現状を踏まえ、8月1日（土）衣川地区センターで、岩手大学農学部の中内貴義（きよし）准教授を迎えて「ツキノワグマの生態と対処法を知る」と題した講演会を開催しました。衣川地区振興会の役員研修として行ったこの講演会は、一般にも開放して開催し約70人の参加者がありました。

山内先生が話された内容の一部を紹介します

・クマの学習能力は高く、人家に侵入して食べ物をあさるなど、これまでの対策では通用しない被害

が出てきている。ツキノワグマはアジアを中心に分布。乱獲などの影響で世界的には絶滅危惧種になっている。

・東北地方は希少な生息地。数年前に大量出没の年がある。

・平成後期から急増し、令和に入ってから人身被害が増えてきた。

・クマは、50センチ程度の茂みでも身を隠し長時間籠城できる。草の刈り払いを集団で行うことや、情報共有を地域間で行うだけでも被害を防げる。

・人が気付かないだけでクマは昔から人の近くにいる。地域で捕獲する人を育てることが大事。

・クマへの遭遇防止対策として笛の持参がおすすめ。熊鈴は、立ち止まるとの作業では鳴ら



▲「クマ」と言えば山内先生

ないため効果は薄い。万が一クマに遭遇した場合、声を出さず、視線を離さず、ゆっくり後ずさりし、クマと自分の間に障害物を挟む。クマ撃退スプレーは、10以内まで接近してきた場合に目と鼻をめがけて噴射することが

重要。山に入る時や、農作業をする時、ベルトの横に挟み込むなどして、すぐにスプレーを取り出せる工夫をしなくてもいい。噴射する場合は、風向きを常に考えて動き、風下に自分や同行者が立たないように気をつける。



▲山内先生の映像資料から

熊の生態を知る

～パネル展・写真展を同時開催～

山内先生の講演に併せ、岩手大学ツキノワグマ研究会（通称クマ研）の「パネル展」と、北上市在住で野生動物カメラマン佐藤嘉宏さんの「クマの写真展」を、7月30日（木）から8月5日（水）までの7日間、衣川地区センターロビーで開催しました。

り、クマの生態について学びました。岩手大学クマ研のパネル展では、クマ研の活動紹介、ツキノワグマの特徴、生息数、人身被害件数、農作物を守る対策、遭遇しない対策、遭遇した時の対策などを分かりやすく解説したパネル11枚と、体長120センチのツキノワグマの成獣のはく製を展示。佐藤嘉宏さんのクマの写真展では、ヨモギを食べるクマ、大木



▲「子グマの兄弟」（佐藤嘉宏さん撮影）



▲「昼寝タイム」（佐藤嘉宏さん撮影）

で遊ぶ子熊、子熊の兄弟、糞をするクマ、クマ山の主など、真近で撮影した迫力あるクマの写真パネル14枚を展示しました。

戦没者追悼・平和を祈る

8月15日（土）、企画展「戦後81年・衣川の人々が



生きた戦争の時代」を昨年に引き続き衣川地区センターで開催しました。衣川地区振興会、衣川遺族会（浦川福一会長）、衣川ユネスコ協会（佐々木秀康会長）が主催。衣川遺族会が編集したものと、故佐々木市男さん（六道）が更に詳細にまとめた戦没者名簿を中心に、写真パネル、アルバム、日の丸寄せ書き等の戦時資料約60点を展示しました。戦時DVDの上映、ユネスコ平和の鐘も併せて開催されました。



▲岩手大学ツキノワグマ研究会の展示



▲クマ撮影の説明をする佐藤嘉宏さん



▲岩手大学「クマ研」の展示・クマのはく製